



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

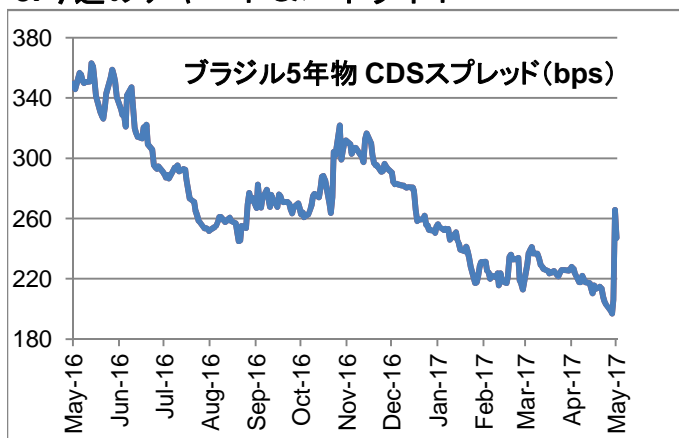
			5月15日	5月16日	5月17日	5月18日	5月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.1090	3.0970	3.1390	3.3760	3.2540	-0.1220
	BRL/JPY	Spot	36.60	36.52	35.30	33.03	34.18	+1.15
	EUR/USD	Spot	1.0977	1.1084	1.1160	1.1103	1.1206	+0.0103
	USD/JPY	Spot	113.79	113.10	110.80	111.51	111.26	-0.25
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.31	9.26	9.29	10.31	9.90	-0.4097
	Future	1Year(p.a.)	8.81	8.77	8.78	10.17	9.70	-0.4657
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.868	1.940	1.942	1.929	2.201	+0.272
	USD	1Year(p.a.)	2.034	2.054	2.078	2.099	2.381	+0.282
株式	Bovespa指数		68,474.19	68,684.50	67,540.25	61,597.05	62,639.31	+1,042.26
CDS	CDS Brazil 5y		198.78	196.94	206.09	265.74	247.04	-18.70
商品	CRB指数		182.741	182.140	183.244	182.507	185.08	+2.570

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 週間市況、トピックス

- テメル大統領による不正隠蔽への関与を巡る報道から、レアルは2016年12月半ば以来となる3.4100まで急落。
- 週初のレアルは3.1110で寄り付いた。週前半は原油価格の上昇などを背景に一時3.0880まで上昇したが、週半ばにテメル大統領が汚職に関する証拠隠蔽に関与したことを示す録音データが司法取引で提出されたとの報道で急落、安値3.4100まで売られた。その後は伯仲銀によるドル売り介入やレアル安の機会を捉えた資金流入に支えられ3.25台まで回復。結局3.2540で超過した。
- 伯仲銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.47%から0.50%へ上方修正、2018年は2.50%で据え置かれた。インフレ率予想は2017年が4.01%から3.93%へ、2018年は4.39%から4.36%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.23から3.25へレアル安方向に、2018年末は3.40から3.36へレアル高方向に修正された。
- 伯仲銀は16日にドル売りポジションのロールオーバーを再開。ロール金額は1日あたり4億ドルで、今月末期日のポジションは全てロールオーバーされるペース。また18日のレアル急落を受け、同日にはロールオーバーに加えて40億ドルのドル売り通貨スワップ入札を実施。19日にも20億ドルの入札を実施した。23日まで1日20億ドルの入札を継続するとしている。
- 17日、大手食肉メーカー幹部のバチスタ氏が司法取引の証拠隠蔽として、テメル大統領が汚職に関する証拠隠蔽を認める発言を行った録音データを提出した、と地元紙が報じた。テメル大統領は同氏との面談の事実を認めたものの証拠隠蔽工作への関与を否認。18日夕方に記者会見を開き辞任を否定したほか、最高裁判所に対して詳細な情報の開示と調査を求めた。報道を受けて野党はテメル大統領の弾劾要求を提出。議会は年金改革法案、労働法改革法案の審議を停止した。
- 18日夜に録音データが開示されたが、疑惑が持たれているクーニャ元下院議長への口止め料支払いに対する同意については大統領は明言をしておらず、バチスタ氏による「クーニャ氏と上手くやっている」との発言を肯定したに過ぎないもので、大統領にとってはポジティブな材料となった。

## 3. 今週のチャート&amp;ハイライト



## テメル大統領の疑惑報道からブラジル売りの動き

テメル大統領による不正隠蔽への関与が報じられたことで18日の市場ではブラジル売り一色となった。終値ベースでボエスパ指数は前日から8.8%下落。ブラジルの5年物CDSスプレッドは206bps近辺から266bpsへ急拡大した。金利先物市場は2019年1月限で前日比156bps上昇するなど全ての年限で金利が上昇。市場が織り込む次回COPOMでの利下げ幅は前日の約▲122bpsから▲62bpsまで低下、19日時点でも▲86bpsの水準にとどまっている。



## 4. 来週の為替市場注目点

## 予想ドル・レアル相場レンジ：3.20－3.35

来週のレアルはテメル大統領による現政局への対応に翻弄される展開となろう。レアルが売られる場面では伯中銀によるドル売り介入がレアルを買い支える展開を見込む。疑惑となった録音データの内容や大統領による18日の会見を受けて早期の弾劾手続きや辞任の可能性は低下しているが、司法取引において新たな悪材料が出てくるのが警戒される中、レアルの上値は限定的と予想する。また、トランプ米大統領によるロシアへの機密情報漏洩疑惑を巡るリスクオフの動きにも注意を要する。

## 5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
特になし				

## 6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	5/23	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	May	3.73%	4.41%
ブラジル	5/23	経常収支	Apr	\$1200m	\$1397m
ブラジル	5/23	海外直接投資	Apr	\$5500m	\$7109m
ブラジル	5/24	Federal Debt Total	Apr	--	3234b
ブラジル	5/24	FGV消費者信頼感	May	--	82.2
ブラジル	5/25	ローン残高(前月比)	Apr	--	0.2%
ブラジル	5/25	融資残高	Apr	--	3077b
ブラジル	5/25	個人ローンデフォルト率	Apr	--	5.9%
ブラジル	5/25	中央政府財政収支	Apr	6.8b	-11.1b
ブラジル	5/26	FGV建設コスト(前月比)	May	0.08%	-0.08%
ブラジル	5/26	PPI 製造業(前月比)	Apr	--	-0.03%
ブラジル	5/26	基礎的財政収支	Apr	5.3b	-11.0b
ブラジル	5/26	純債務対GDP比	Apr	48.2%	47.8%
ブラジル	5/26	CNI Consumer Confidence	May	--	103.4
米	5/26	GDP(年率/前期比)/改定値	1Q	0.9%	0.7%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されており、当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。